住友林業

2026 年 11 月 26 日

報 道 各 位

住友林業株式会社

LGBTQ 取組み評価の「PRIDE 指標」で 5 年連続ゴールド認定

住友林業株式会社（社長：光吉　敏郎　本社：東京都千代田区）は 11 月 25 日、職場の LGBTQ への取り組みを評価する指標「PRIDE 指標 2026」で最高位のゴールドに認定されました。同指標のゴールド認定は 5 年連続となります。

■PRIDE 指標

LGBTQ が誇りをもって働ける職場の実現を目指し、任意団体「work with Pride」が 2016 年に日本で初めて策定した評価指標。ゴールド、シルバー、ブロンズの 3 段階で評価し、「PRIDE」の各文字に合わせた 5 つの評価指標「Policy（行動宣言）」、「Representation（当事者コミュニティ）」、「Inspiration（啓発活動）」、「Development（人事制度・プログラム）」、「Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）」全てを満たすとゴールドに認定します。

■当社の取り組み

LGBTQ の正しい知識と理解の浸透を目的に、2021 年から役員、各部・支店責任者、総務責任者、採用・研修部門の社員など約 600 名を対象に研修を実施。全社員に e-ラーニング受講を促し、個別の相談にも応じられるよう社外相談窓口を設置しています。

2022 年 1 月に「パートナーシップ制度」を導入し、同性パートナーおよび事実婚のパートナーにも配偶者と同様の福利厚生を適用しました。また、社内イントラネットでの情報発信やアライ※ステッカー、オンライン会議用背景画像の配布などを通じて、LGBTQ への理解促進とアライの拡大に取り組んでいます。
2026 年は 6 月を「レインボーマンス（Rainbow Month）～多様性を考える 30 日～」と位置づけ、LGBTQ 理解促進研修を実施したほか、グループ社員を対象に LGBTQ をテーマにした映画「日々、日和」の上映会を開催しました。

※アライ（Ally）は英語で「味方」、「支援者」を意味する言葉で、LGBTQ の理解者、支援者を指します。



住友林業オリジナルアライステッカー

■今後の見通し

住友林業グループは SDGs 目標年でもある 2030 年を見据え、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定しました。長期ビジョンでは「地球環境への価値」、「人と社会への価値」、「市場経済への価値」の視点から 9 つの重要課題を設定。その 1 つに「働く人が活き活きできる環境づくり」を掲げています。今後もサプライチェーンに関わるすべての人が安全で健康にそして活き活きと働ける職場づくりを進めます。

（参考情報）
パートナーシップ制度規程を制定～同性婚・事実婚のパートナーを配偶者と同等に～
https://sfc.jp/information/news/2022/2022-01-26.html

≪お問い合わせ先≫
住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部　鈴木・内田
TEL：03-3214-2270

木と生きる幸福
住友林業グループ